

くすやま美紀(樟山みき)活動報告

2021. 9. 16 NO. 319

連絡先 荻窪5-15-19-704 電話 080-5531-8236

区議会控室 3312-2111(内)2319 FAX 3312-2610



党区議団の調査で発覚

区長 緊急事態宣言下、公用車使い 群馬で酒を伴う会食・宿泊

他県への移動自粛に反する行為

田中区長が緊急事態宣言が発令された直後に、公用車で群馬県に移動し、飲食を伴う区内経済団体の会合に出席していたことが、日本共産党杉並区議団の調査で明らかになりました。

14日の区議会一般質問で、山田耕平議員は、開示請求資料で明らかになった実態を示し、追及しました。

開示資料には、緊急事態宣言が発令されていた今年の7月14日午後、公用車で群馬県長野原町のゴルフ場への移動が記載されていました。

区は、山田議員の質問に、酒類も提供され、宿泊したことも認めました。

山田議員は、区長の行為は「緊急を要するものではない」と指摘。「東



質問する山田耕平議員

7月の区長の日程表より(抜粋)

7/14(水)	11:00~11:15	登庁	<区長車使用>
	11:30~11:50	報告(新型コロナウイルス予防接種担当課長)	宇賀神副区長室
	15:30~20:00	出張(東京商工会議所杉並支部幹部会議)	軽井沢高原ゴルフ倶楽部<区長車使用 区役所発 12:00~随 行終了 17:10>

京都の自粛要請に背く行為ではないのか」と区長の姿勢を質しました。当日、杉並区では、ワクチン接種の新規予約が開始され、早々に予約が埋まり大きな混乱が発生していました。

調査発表にマスコミも注目

さらに山田議員は「区内経済団体には、区から発注を受けている企業の代表者がいるのではないかと追及。「こうした事業者との旅行やゴルフは、国家公務員倫理規定で禁止されているのではないのか」と区長の認識を質しました。

田中区長は一切答弁に立たず、総務部長が答弁。宿泊費、飲食費は公費負担だと認め、酒を伴う飲食があったことについて「短時間で終了した」と言い訳に終始しました。

マスコミも注目。テレビ各局は14・15日のニュース番組で報道、新聞も、朝日、読売、毎日、東京、産経等が取り上げました。



テレビ各局のニュース報道

新型コロナ対策 総力上げた取り組みを

9月9日の区議会本会議で、私は、新型コロナ対策、小中学校の校則について、質問しました。今週は、新型コロナ対策について報告します。

自宅療養者への支援強化開始

東京では、7月から8月にかけて、新規感染者は爆発的拡大となりました。陽性と診断されても、病院にも療養施設にも入れず、自宅療養を余儀なくされている事態がうまれているもとで、杉並区が、

区民の命を守るために、総力をあげて取り組むことを求めました。

区は、9月から3か所の保健センター内に「自宅療養者支援ステーション」を設置し、対象の方にパルスオキシメーターや食品等の物品を配布するとともに、1日2回の架電やICTを活用した健康観察、相談

支援を行っていることと答弁。また、医師会と訪問看護ステーションの協力を得て、必要な方には酸素濃縮装置を活用した訪問診療や訪問看護を行うことと答えました。

保健所職員の超過勤務は深刻さらなる支援拡充を

自宅療養者や新規感染者への対応で、保健所職員の超過勤務は昨年と比べ、さらに深刻となっております。1か月の超過勤務時間が173時間に及んだ職員もおり、全庁的な支援体制を求めました。

区は、保健師業務については、

保健所各課及び各保健センター、本庁配置の保健師で全庁的な応援体制を取ったことと答弁。発熱相談センター業務、自宅療養者支援ステーションの業務についても、事務職などで対応可能な業務は、全庁的な応援体制により行っていると答弁しました。



9月9日、本会議場にて

■区内の感染者の状況 (9月1日時点)

入院者数 434人
療養施設入所者数 133人
自宅療養者数 613人
(うち、入院待機者数は0人・療養施設待機者数は18人)

保健所職員の昨年4月から7月までの最多の超過勤務時間数 (いずれも事務職の実績)

	4月	5月	6月	7月
2020年	112時間	99時間	109時間	97時間
2021年	149時間	173時間	170時間	151時間

感染伝播の鎖を断つため PCR検査の拡充を

感染拡大を防ぐために、感染が顕著になっている事業所や保育所、学童クラブ等での大規模検査の実施を求めました。

区は「クラスターが発生している施設に 대해서는、濃厚接触者に限らず、幅広く接触者を検査対象としている。そのため、現時点では、一律的な大規模検査は考えていない」と答弁しました。

感染伝播の鎖を断つためには、検査を「いつでも、だれでも、何度でも」の立場で、大規模に実施することが鍵です。しかし、杉並区のコロナ対策の基本姿勢は、「医療提供体制の維持・拡充」「適切な療養環境の提供」「隔離政策を含む感染拡大防止」「ワクチン政策」で、PCR検査の拡充が入っていないことは問題です。

新型コロナ対策については、決算特別委員会でも質疑に立つ予定です。